

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	総合文化祭補助金（田沢湖地区）							
担 当 課 係 名	田沢湖公民館	課	館長	係	作成者	黒沢文喜		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち				総合計画のページ		
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備						
		主要施策	社会教育活動の充実				96	
予 算 費 目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	2 目	公民館費
事 業 期 間	平成	年度	～	平成	年度	新規／継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等								
事 務 区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	市民の芸術活動への参加意欲を高め、発表の場を提供するとともに、仙北市の芸術文化の発展に寄与する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	実行委員会を組織し、生保内市民体育館を主会場に作品展示を行う。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	開催及び準備日数	日	26	26		
	成果指標	出展数	個	943	1,022		
		入場者数	人	500	500		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			150	150		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		150	150		
		人 件 費 (B)		—	785	807	
		職 員 数	—	0.1	0.1		
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	935	957		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	35,962	36,808	
				—			
		市民1人当たりのコスト(円)		—	29	30	

【事務事業の今までの成果】

- ・ 市民の生涯学習の成果の発表の場として寄与する事が出来た。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	・ 他自治体でも同様に開催している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	・ 作品の発表の場がもっとあればよい。会場が暗い。芸能発表もほしい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	旧町村ことに実行委員会を組織し、それぞれ特徴もあり、今のところ統合については各実行委員会に出ておらず、現状のまま継続してゆきたい。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	現在は地区の特長を活かした事業となっており、引き続き継続事業と考える。しかし、将来に向けては、仙北市文化祭としての統一も視野入れた検討が必要と考える。

一次評価診断図

